

●炭焼体験第 2 回目試行 着火 2 月 24 日 9:00 空気遮断 3 月 1 日 16:00

今年予定していた 2 回目の炭焼体験の着火が無事に行われ、前回と同じような時間帯で進められました。19 時ごろに焚口が封鎖されて順調に火が回りました。しかし排煙の温度の上昇スピードが遅く 1 日ほど遅れ 3 月 1 日になりました。締め切り当日朝の排煙温度は 310 度になり、排煙状況はわずかな水蒸気のみ状況でした。少し生産量の減量が見られるのではないかと思います。これで窯周囲の整理が完全に行われるのではないと予想していましたが、追加して持ち込んだ着火用の薪がかなり残り整理整頓が予想通りには進みませんでした。前号でもお知らせしたように、炭の窯出しをおこなえば、焚口も詰め込み口も解放されてしまい窯内部も空っぽになって、安全上も管理上も保安管理に心配が発生しますので、次回炭焼を希望される機会迄、窯出しをしないで閉鎖状態で保存すべきだと判断しています。これまで打田薪炭組合では最終の炭焼者は次年度の炭焼者の出現まで窯を閉鎖して維持されてこられました。里山の会が今年度最終使用者でありますので従来のしきたりに従います。炭の需要には 35 箱分があり使用希望者には十分お応えできる分量が保存されています、ご利用希望者にはお分けが可能です。せいぜいご利用ください。

●2020 年度木津川希少種植生調査管理業務への公募に応募 2 月 10 日締め切り日

毎年 2 月の 20 日前後に木津川希少種植生調査管理業務の公募が行われてきました。今年も同時期に発表され、昨年同様の応募用紙に記入を行って提出をしました。応募のための資格が河川協力団体という一項がありますので私達里山の会として資格が該当します。また希少種の選択技能も必要な技術でもありますので、地元という点でもあり比較的有利ではないかと思います。受注が決まればこれまで同様皆様のご協力を精一杯頂きますようお願いいたします。

●2020 年度建設協会の地域づくりに応募する 3 月 2 日締め切り日

里山の会として初めての応募となりました。建設協会職員の皆様から紹介のパンフレットを頂き、事務局会議で検討した結果、紹介を受けたのだから応募してみようと話がまとまりました。当選枠は 10 団体とのことなので、かなり厳しいと予想されます。当たれば幸いとダメモトで応募いたしました。内容は京都府下の子どもたちを対象にした 8 月に実施を予定している「子どもの水辺発表交流会」といたしました。これまで 2 年続きで さくらであい館 と三川合流部分を利用して開催してきたもので、8 月 18 日前後を予定している 100 名規模の取り組みです

●2019 年度京都府の交響プロジェクト支援事業の助成金交付受け団体の交流会が 2 月 25 日に宇治市で開催され、深田理事長と山村常務理事が出席して、子育て支援団体 30 名の皆さんとの交流を深めました。里山の会としては、これまで行ってきた夏休みの「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」を紹介し、できれば一緒に取り組むことが出来れば相互に役立つのではないかと思います。開催に当たっては新しい様々な課題があろうかと思いますが、お互いにメリットを見つけ出し、共有できれば新しい形でのイベントになると思われます。また自然を大切にする仲間の輪を大きくすることにつながればと思いました。こうした新しい団体との交流の機会を活かしていければと思います。

●イタセンパラの復活を目指す取組の代表に光田重幸先生に依頼 快諾いただきました。

過日の河川レンジャー運営委員会で光田先生に、木津川でのイタセンパラの復活を目指しての取組を紹介し、地元から組織や運動の代表者に就任をして頂きたいとお願いいたしました。事務局会議で組織の代表にふさわしいお方の必要性について話し合い、光田先生がふさわしいのではないかと推薦もありまして、この機会にとご無理をお願いしました。専門分野ではないけれどたつての要望なら小川力也先生を後ろ盾にしてならと快くお引き受けいただきました。皆様には多々困難な

課題が考えられますが、力と知恵を集めて故郷の川 木津川に特別天然記念物イタセンパラの復元のために大きなご協力をお願いいたします。

●**コロナウイルスの感染者(陽性反応者 1000 人を超える)** 持病保持者や高齢者が感染するとかなり高い死亡率になることが明らかになっています。高濃度接触者にならないように混雑を避けること、そして広げないように各個人が徹底して手洗いやマスクの使用に心がけることが強調されています。里山の会では7日に予定していた第24回自然と環境講演会の中止を決定しました。また京都に自然博物館の実現を目指している自然環境保全京都府ネットワークの定期総会が15日に予定していましたが中止となりました。また近畿子どもの水辺交流発表会の第3回役員会も中止されました。里山の会が定番としてきた4月4日に予定している「親子花見乗船体験」もこの状況が続いてくると開催が危ぶまれています。4日現在、世界60か国に感染者広がりイタリアやフランスや西欧にまで拡大してきており、オリンピックの開催にも影響が考えられる事態にまで及んでいます。観戦しても症状が出ない若者によって無意識のうちに高齢者に移ってしまうということが心配されています。ワクチンがなく、肺炎で亡くなる人が多数出現しています。政府は拡大を抑えるために3月2日から全国の小中高が一斉に休校とされ、方々で突然の対策発表で大混乱が起きています。この1~2週間の対応が大切だと強調されています。

●**コロナウイルスに関して3月のイベントはすべて中止と決定いたしました。**中旬の里山展(京田辺中央図書館ギャラリーかなびでの展示会)は中央図書館が閉館となりましたので自動的に中止とさせていただきます。

また4月4日(土)に開催予定の「親子花見乗船体験」も大勢の人が集まるイベントは自粛するようにとのことで、事前準備の28日午前中の馬坂川の清掃作業も併せて中止とさせていただきます。

期待されていた皆さんには誠に申し分けなくと思いますが、一斉休学直後の取組であり、見通しも定かでないこの折ですが、感染防止のためにやむなく中止とさせていただきます。もちろん一週間後の「春の野草を味わう会」も中止となりますのでご了解ください。以後の取組は状況を見て判断いたします。